

2018年度聖望学園中学校・高等学校 学校評価

	評価項目	自己評価（2018年度分）	達成度	学校関係者評価	第三者評価
1	基本統計 ・学校要覧の発行状況 ・基本統計管理の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校要覧は10月に発行できた。 ・基本統計の管理では、<u>教務</u>ではスクールエイドにて調査書、指導要録の管理を行い、不備なく管理ができた。<u>生徒部</u>では指導記録を学年ごとに集計できていた。<u>募集広報部</u>においては、過去13カ年間の入試データの蓄積ができ、有効に活用することができていた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・問題なし、評価に値する。 ・問題なし、評価に値する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校要覧も計画通りの発行であったことは評価できる。 ・統計の管理も、よく集計管理が進められて、その有効な利用もなされていることは素晴らしい。
2	中期・単年経営計画 ・生徒募集状況 ・教員研修状況 ・5Sの状況 ・CO2削減状況 ・キャリア教育の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒募集の結果は中学45名、高校324名の新入生が決定した。中学校の定員が確保できなかった。中学校では適性検査試験を実施が5年目となり受験人数は安定している。応募者は増加したが入学者数に増加にはつながらなかった。募集活動での課題がある。 ・教員研修は、年々充実を図っている。進路では多くの教員が、予備校等主催の研修会に参加し、大学受験指導に向けての知識を吸収し、各教科のレベルアップを図っている。しかし、生徒指導、募集の研修に関しては課題がある。さらに、ICT教育に係る機器の使い方及び授業展開等の研修が望まれる。 ・CO2の削減については、ゴミの分別、トイレの電燈の自動消灯化などが取り入れられている。それ以外の電燈消灯などについては、徹底ができていない。 ・キャリア教育は特別委員会が設置し、その指導計画に基づいて実施された。具体的には、高校1年生で「オープン・キャンパス」、職業紹介ガイダンスの実施、高校2年生では「キャリア・ゼミ」を実施した。高校3年生では、模擬面接を実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒募集に関して学校の努力は評価できる。中学校の入学者数増の結果に繋がらなかったことは、学校側の努力とは別なところに原因があるかもしれない。更に分析をして次年度に結果が出れば良い。 ・学習指導に関しては大変評価するところであり、学校、教諭共に努力している。生徒指導等に関しては、これで良いというものではなく毎年評価は変わるものである。継続して取り組まれると良い。 ・CO2削減への取り組みに関しては継続して取り組まれることを期待している。 ・キャリア教育の状況に関しては、学校の取り組みを評価したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年と同様、中学では応募者の増加があったものの、入学定員が未達に終わっている。募集活動の学校の努力は認められるとされ、外的要因によると判断されているようだが、長期的に改善の見込みがないということであれば定員の変更は考えられるのか、検討も必要ではないか。 ・学習指導、生徒指導に関しては、課題はありつつも、全体として良い取り組みをしていることが評価される。一貫生の中学の成績向上は、募集状況とも関わっていて困難さがあるのだろうか。計画的な取り組みの検証も有効か。 ・CO2削減の取り組みで、消灯による節電の取り組みに苦慮されているようだが、何か対策はないか。またエアコンの温度調整など他の取り組みを合わせると良いのではないか。 ・キャリア教育では『進路探求ワーク』の使い勝手に問題があるようなので、対策をとり、改善されることが期待される。
3	組織運営 ・責任体制の整備状況 ・経理状況 ・情報管理状況(個人情報を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・責任体制の整備状況では、各分掌で部長、委員長を中心に分担が明確化され、責任の所在がはっきりさせている。 ・生徒会経理など管理体制は十分行われている。 ・個人情報などの情報管理は、教務部が学校共有PCの共有ファイルの整理し、情報管理を行っている。 ・個人情報の学校外の持ち出しは禁止し、答案用紙の持ち出しは管理職の許可のもと紛失がないようにしている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・問題なし、評価に値する。 ・問題なし、評価に値する。 ・引き続き個人情報等の管理は、厳重に取り組んでいただきたい。 ・引き続き個人情報等の管理は、厳重に取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織運営に関しては、報告されているところでは、それぞれの責任が明確になって取り組まれていることは評価される。また生徒会顧問などにおいても、仕事の分担がなされたことで、良い体制が作られていることは評価される。 ・生徒会会計業務に関しては、運用方法の周知の徹底とその業務的遂行にさらなる改善が望まれる。 ・しかし、生徒主体の運営を進めるなど、昨年より改善されたことは高く評価される。
4	施設・設備 ・施設、設備の活用と整備の状況 ・施設、設備の点検状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理部が中心となって、清掃状況の確認や教室備品の整備などが組織的に行われている。年度当初の下足箱、机椅子等の整備は、組織的に行われスムーズに新年度を迎えられた。情報図書においては、既存の映像設備において点検、整備も定期的に行われており、多くの利用に役立っている。大型教室における映像機器の利用状況もよく、十分に活用されている。また、空調完備の体育館は、快適な環境での教育活動が実施されている。 ・ICT教育に関しては中学生には全員に、高校生には1年生にiPadを貸出し、教師生徒の双方向の授業展開を実践している。将来を見据えて、全HR教室への電子黒板の設置及びWiFi環境が整った。今後の有益な活用が課題である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に良い環境が整っている。トイレ改修が計画的に行われていることを評価したい。また、学生食堂の見直し、利用時間帯なども併せてご検討いただくと、生徒募集に良い結果が出てくるかもしれない。 ・ICT教育については、積極的な展開が見られ、時代に合わせて柔軟に対応され、設備においても計画的に整えていることを評価したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学習環境の整備としての清掃や備品の整備は例年と同様に良く行われていると評価される。しかし、具体的な取り組みについて環境管理部としては必ずしも満足されていない様子がうかがえる。改善が求められる。 ・ICT教育関係に関してはWiFi環境も含めて良く整備されていると評価される。コンテンツ作成、また教室での各教科での具体的な取り組みが拡大すれば、そのために求められるものが出てくるだろうから、計画的に整えることが必要と思われる。
5	宗教教育 ・宗教教育の状況 ・宗教的諸活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教委員会では、生徒と教師がキリスト教に触れる機会を与えることを念頭に置いて活動している。 ・生徒のキリスト教に対する関心を広げるため、アンケートを実施し、キリスト教行事の参考にした。次年度もアンケートを継続したい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・問題なし、評価に値する。 ・一方的な宗教教育よりも更に進んだ、工夫された宗教教育に取り組まれているところを評価したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・礼拝、行事における祈りなどキリスト教主義教育の中心について、活動的になされていることは評価される。 ・委員会だけでなく、担任の協力も得て生徒へ働きかけを行うなど、学校全体としての取り組みと行ったことを評価したい。
6	教育課程・学習状況 ・教育課程の実施状況 ・学習指導の状況 ・成績の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教務部ではシラバスを予定通り4月に発行することができた。各教科はそれに沿って授業を展開している。評価・評定の検証や見直しを図った。全学年の4コース制の諸問題の検討が課題である。 ・学習状況としては、成績面では昨年度と同じ程度である。さらなる向上が求められる。学業 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・問題なし、評価に値する。 ・問題なし、評価に値する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表簿類、時間割、シラバスの作成などの準備が昨年に比して改善したことなども含め、順調な取り組みがなされていることは高く評価される。 ・入試改革にも合わせ進められている JAPAN e-portfolio の導入に関しては、全学的な周知徹底と、生徒の情報管理など、慎重に準備が重ねられている様子は

	・ICT 機器を活用した授業の普及	特奨生の河合塾サテライト講座や土曜講習での支援を行っている。 ・中学生全員、高校1年生に一人一台 iPad を貸出し、電子黒板を利用した双方向の授業の展開および iPad への課題の配信など ICT 教育の実践を図っている。			評価される。 ・ ICT 教育の取り組みも全学的に意識向上も見られ、さらなる取り組みの展開が期待されるが、困難を感じる教員への対応が必要であろう。
7	部活・行事 ・部活動の状況 ・行事の実施状況	・部活動の自己評価報告は、本年度は実施しなかった。次年度への課題である。 ・国際交流委員会では、サマースクールプログラム(カナダ)は 10 名の参加で実施。オーストラリアへの短期留学(3月)には24名が参加した。ターム留学は申し込みがなく実施できなかった。 ・森林環境委員会では、森林体験教室(50名の参加)、10月のEco Forest Dayは90名での活動予定であったが、台風の為中止となった。飯能市のヤマノススメイベントに協力した。	B	・次年度に期待したい。 ・次年度に期待したい。 ・この森林体験教室の取り組みは、現代の子供に必要なプログラムの一つである。大変評価できる。	・部活動について自己評価報告がなされなかったとあるが、これは今年度のみでなく、少なくとも三年間毎年その実施されていなくて、次年度の課題とされている。その理由を確認し、実施の方針を徹底すべきだろう。 ・カナダサマースクール、オーストラリア短期留学の成果は、昨年からの改善によるものと評価される。逆にニュージーランドターム留学が実施されなかったことを見ると、毎年すべての国際プログラムを実施することには無理があるかもしれない。 ・森林活動について10月の台風による中止はやむを得ないとして、基本的にこの取り組みは評価される。
8	生徒指導・カウンセリング ・生徒指導体制の状況 ・カウンセリング活動の状況	・生徒指導については、生徒指導委員会が作成したマニュアルに沿ってどの教員でも同じ指導ができる体制は整えた。しかし、SNS 指導と交通マナーを保健体育の授業にリンクさせることが課題である。 ・教育相談委員会は、以前より細かい相談の対応となっている。カウンセラーも交えた定期的な委員会が開かれ生徒個々へのきめ細かい対応を目指している。	A	・全体的なマニュアルで終わらせることなく、最終的に個別支援(個別対応)マニュアルのようなものができることを期待したい。生徒一人一人の個性を輝かせる指導を期待している。 ・問題なし評価に値する。	・生徒指導については、マニュアルの作成とデジタル機器を利用したリスクマネジメントの徹底など、良く準備されていると思うが、実際には運用にかかっている。生徒もそうだし、教職員においても、情報知識の共有・理解の徹底を図る必要があるだろう。 ・カウンセリング活動などは、利用案内も含めて生徒・保護者に向けて絶えずコミュニケーションを図る必要があるだろう。
9	進路指導 ・進路指導体制の状況 ・進路結果	・進路指導については、進路指導体制が確立している。 ・進路結果については、例年より上昇している。ただし、目標から考えると満足な結果とは言えない。	B	・問題なし評価に値する。 ・厳しい学校側の自己評価は信頼できる。	・学校全体の評価にも直接つながる進路指導は幅広い視野をもって取り組まれている様子が伺え、高く評価される。河合サテライト、Classi の活用に関する課題も明確にされていることも評価される。改善を期待したい。
10	安全管理 ・学校安全計画の状況 ・危機管理マニュアルの作成、活用状況 ・学校防災計画の作成、実施状況	・安全管理について、総合防災訓練を1回実施した。 ・危機管理マニュアルの作成配布も予定通り行われた。 ・デジタルなまが導入されており、緊急地震速報が校内の全員に連絡でき、早期の地震に対する構え、避難ができた。火元責任者掲示と巡回を行った。	B	・問題なし、評価に値する。 ・問題なし、評価に値する。 ・問題なし、評価に値する。訓練等は今後も継続して頂きたい。	・安全管理の実施においては、問題なく取り組んでいることは評価される。 ・また、危機管理マニュアルの若干の改善もなされたことも評価される。 ・デジタルなまがなど新しい機器とシステムの導入も評価される。利用した訓練の充実が必要だろう。
11	保健管理 ・学校保健計画の作成、実施状況 ・健康診断の実施状況	・学校保健計画、健康診断の実施は養護教諭により適切に行われた。	A	・問題なし、評価に値する。	・学校保健計画と健康診断については、保健安全委員会の管轄から外され、全体の業務バランスは良くなったということだろうか。保健室、養護教諭による一括した取り組みは適切な対応であったことと評価できる。
12	特別支援教育 ・特別支援生徒への対応状況	・教育相談委員会を中心に、相談等を実施した。個別相談が増加している。 配慮が必要が生徒に対する対応について講師を呼び研修会を開き教員への意識を高めることができた。今後はより実践的な対応力が望まれる。	B	・問題なし、評価に値する。	・様々な困難を抱える生徒の増加が見られる状況に応じて、相談体制と整え、取り組まれており、さらに研修会も開いて早期発見、早期対応と特別な対応の検討が進められていることは高く評価される。
13	保護者・同窓生との連携 ・保護者会の状況 ・地区集会の状況 ・同窓会との連携状況	・学年ごとに保護者会を行い、必要な意見交換が行われている。後援会が行っている地区集会にも教員が参加し、保護者との交流及び意見交換が行われた。同窓会に学校での現状を報告しており、施設・部活動見学会も実施している。また同窓会からは、学業や部活において一定の評価を得た生徒に対し、奨励賞が贈られている。	A	・学校側の取り組み、教職員の参加等は大変評価できる点である。保護者と学校との関係においては、今後とも積極的に交流を図って頂きたい。保護者からの意見を聞き、学校の事情を説明し、問題のあぶり出しをして対処していく事は、保護者との良好な関係を継続していく上で重要な点であると考えられる。	・学年別に保護者との交流をおこなっていることや後援会地区集会の活用など取り組みは評価される。 ・同窓会の理解を得ることで、生徒への奨励賞を得ることも教育・学習のモチベーションを上げるためだけでなく、将来学校に関心を持つ卒業生を育てる上で良い関係が作られていると評価される。 ・さらなるコミュニケーションを期待したい。
	総合評価		B	・見直し検討が必要な箇所もあろうが、概ね問題なく行われている点を評価したい。安定した学校経営、学校運営がなされている。	・全体的に、良く取り組まれていると評価される。ICT 教育の取り組み、またポストセンターの大学入試の新体制に向けて高校、中学の一貫した取り組みが進められていることが評価される。受験層に積極的に打ち出していく必要があるだろう。